| Doc. No. | 900412-05 |
|---|---|

yamada

# 取 扱 説 明 書

## グリースルブリケーター

**SKR- 55　MODEL　No.880870**

## ⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書をよく熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

## - はじめに

本機は、機械・車両などのグリース給脂に不可欠な可搬タイプのルブリケーターです。オイル類の給油には使用できません。ご使用になれるグリースは、通常の使用状況下では NLGI NO.0 程度までのグリースです。また、極寒、低温の状況下での使用、または NLGI NO.1 以上のグリースを使用した場合には、吐出量が著しく低下いたします。

## - 安全にお使いいただくために

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。尚、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

## - 警告・注意事項

本機を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行なう方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲のある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を良くご理解いただくようによくお読みください。

| | | |
|---|---|---|
| ⚠ **警告** | ： | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。 |
| ⚠ **注意** | ： | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。 |

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## - 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

### ⚠ 警告

- ポンプの排気口および吐出口に顔を近付けないでください。エアに含まれるドレンや漏れ出た材料の噴出する恐れがあります。もしそれが目に入った場合、失明する可能性があります。
- ブリーダーバルブを操作する際は、吐出口に顔や手を近付けないでください。ポンプ内で畜圧されたエア混じりの材料が噴出する恐れがあります。失明や手を負傷する可能性があります。
- 本製品の吐出部を人に向けないでください。ポンプを運転していない時でも、圧力が残っている場合があります。もしそれが目に入った場合、失明する可能性があります。
- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取扱いによっては引火･爆発の危険があります。
- ポンプを改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので、絶対に改造しないでください。

- 作業者、保守要員の方は、本製品の操作、または保守を行う前に取扱説明書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
- 本製品の設置、操作および分解作業を行なう際は、適切な保護具（フェイスマスク、耳栓および安全靴など）を着用してください。
- 作業中および作業終了後は、本製品が不意に移動しないように、必ずキャスターのストッパーをロックしてください。また、傾斜地など不安定な場所での使用または放置をしないでください。キャスターをロックしなかった場合、本製品が勝手に移動することで物損事故や施設汚染などが発生する恐れがあります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
- 可燃性雰囲気での使用または可燃性材料を移送の際は、必ずアースしてください。材料を高速で移送する場合は、静電気の発生が予想されます。また、可燃性雰囲気になることが予想される場合は、換気を徹底してください。
- 日常点検を必ず実施してください。
- 製品仕様に従って使用してください。
- ポンプのエア供給配管にはバルブ（緊急停止用）やレギュレーターなどを設け、ポンプへの供給エア圧力が 0.7MPa を超えないように調整して使用してください。
- ペール缶交換などでキャビネットを持ち上げた際に、落とさないように注意してください。落としたキャビネットを受けとめようとした時に、キャビネットのエッジ部により手などを負傷してしまう恐れがあります。
- ペール缶からポンプを抜く際は、供給エアを切ってポンプが作動しない状態にしてください。ショベルに（ポンプ最下部）に手を挟まれると、ケガやポンプ故障の原因となる恐れがあります。
- 作業中に危険や異常を感じたときは作業を中止し、トラブルシューティングを参照して対応してください。
- 材料が無くなるとポンプが空運転状態になり振動が激しくなりますので、直ちに停止させてください。ポンプの寿命を著しく低下させ、周辺機器にも悪影響を及ぼす恐れがあります。
- ガンは落とさないように注意して取扱ってください。破損による漏洩や誤作動を起こす恐れがあります。
- 分解を伴う点検作業をするときは、必ずエアを切りポンプを停止させ、配管内及びポンプ内の残圧（エア･材料共）を開放してください。エアを入れたまま分解作業を行うと材料が噴出するなどの恐れがあります。

## ⚠ 警告

- 取扱う材料は地面などに直接排出しないでください。有害物質などの処分は材料メーカーの取扱注意事項（MSDS など）や適用される法規に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った材料を除去したうえで、法規に従って処分してください。（公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。）

## ⚠ 注意

- 作動中の本製品には触れないでください。本製品の作動部との接触により負傷する恐れがあります。

- 仕様に合った材料に使用してください。部品の腐食やこれに伴う材料漏れにより環境汚染につながる恐れがあります。また、使用する材料の取扱いについては、メーカーの取扱注意事項（MSDS）に従ってください。
- 防塵・防水などの対策を講じてください。塵埃や雨水などにより材料の汚染につながる恐れがあります。
- 本製品に接近する際は、足元に注意してください。ベース部の出っ張り（キャスター部）に足を引っ掛けてしまう恐れがあります。
- キャビネットの取付け、取外しおよびペール缶の設置の際は、各部のエッジに手などを挟まないように気をつけて作業してください。また、腰を痛めないように、本製品を移動する際またはキャビネットを持ち上げる際の姿勢にも注意してください。
- ポンプをペール缶から抜き挿しする際、ポンプ内に残った材料やポンプ外面に付着した材料が垂れ落ちる恐れがあります。服などを汚す恐れがありますので、注意して作業してください。
- 高温材料を移送の場合、ポンプ外面やホースなども高温になっている恐れがあります。やけどの恐れがありますので、これらに触れないように注意してください。
- ガンの操作において、レバーとガン本体の間に指を挟まないように注意してください。指を負傷する恐れがあります。
- 作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合には、必ずエア供給源を止めてください。また、吐出口バルブを開いてポンプ･ホース内の圧力を抜いてください。ホースの損傷やバルブの漏れにより施設を汚染させる可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。

# 目次


- はじめに
- 安全にお使いいただくために
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

**1. 各部の名称**
1.1 各部の名称 ..... 1
1.2 梱包内容 ..... 1

**2. 使用前の準備** ..... 2

**3. 使用方法** ..... 3

**4. 保守･点検**
4.1 故障の点検とその対策 ..... 4
4.2 保守･点検 ..... 4
4.3 分解･組立 ..... 4

**5. 部品分解図･パーツリスト**
5.1 880870 SKR-55 ..... 6
5.2 852498 ポンプ組立 ..... 6
5.3 852164 高圧グリースガン ..... 7

**6. 仕様** ..... 8

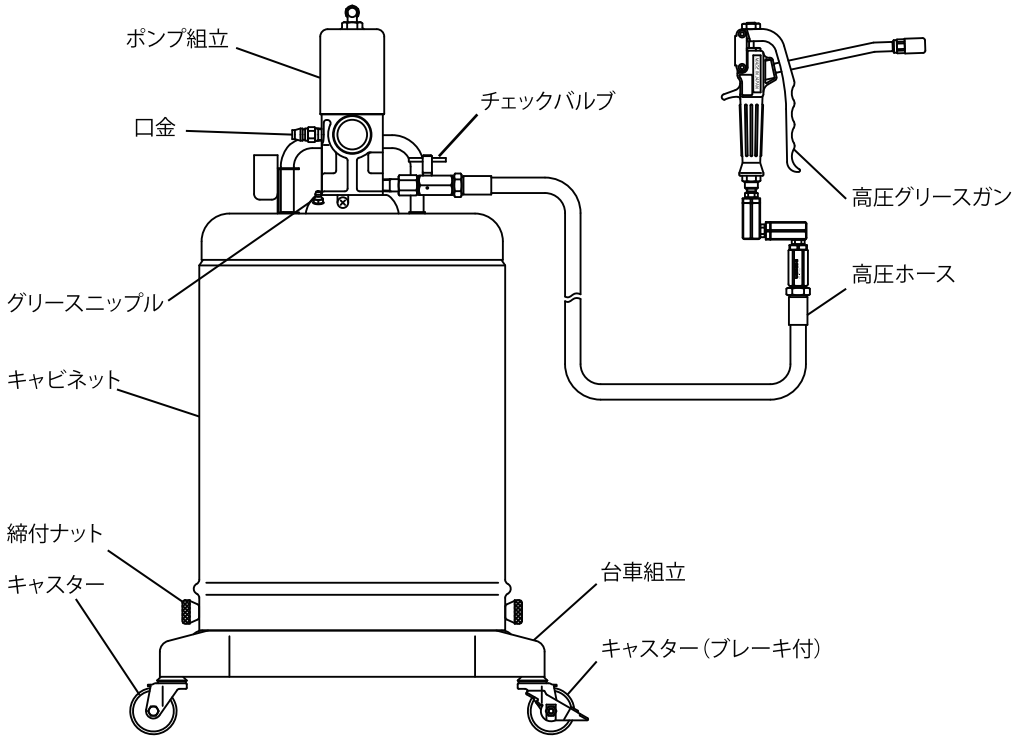
**7. 不具合内容 FAX シート** ..... 9

**8. 製品保証登録 FAX シート** ..... 10

**9. 保証規定** ..... 11

# 1. 各部の名称

## 1.1 各部の名称




## 1.2 梱包内容

本機は、段ボールケースに主機器と付属品が個別に梱包されています。
段ボールケースの上部を開梱し、ポンプ組立･キャビネットの損傷、並びに付属品の有無を確認してください。

## 2. 使用前の準備

1) キャビネットとポンプ組立を組付けてください。組付方法は、はじめにポンプ組立下部のゴムキャップを取外し、ポンプをキャビネットにセットし、なべ小ネジで固定してください。段ボールケース上面に表示されている＜装置の組立＞を参照してください。(Fig. 1)

2) キャビネット下部の 2 個の締付ナットを緩め（反時計方向に回す）、キャビネットを台車から取外します。(Fig. 2)

3) 台車中央部にペール缶を置き、キャビネットを元通りに台車に取付け、締付ナットで左右均等に締付けてください。

4) ポンプ吐出口に、付属の高圧ホース、高圧グリースガンを接続してください。

5) 口金をポンプに接続しますとポンプはしばらく作動し、ポンプ・ホース内にグリースが充満して止まります。

6) 最初のグリースにはポンプ内のエアが混じり、良い状態ではありません。次の操作を行って完全な状態にしてください。
まずチェックバルブを開き、チェックバルブ下の小さな穴からグリースが吐出するまでポンプを作動させ、完全なグリースが吐出されましたら、チェックバルブを閉じてください。(Fig. 3)
この際、グリースが手に触れないよう紙を敷き、吐出したグリースを処理してください。

＜NOTE＞
・エアの混入したグリースは白く濁っています。

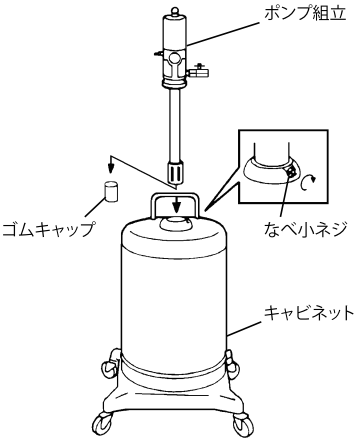
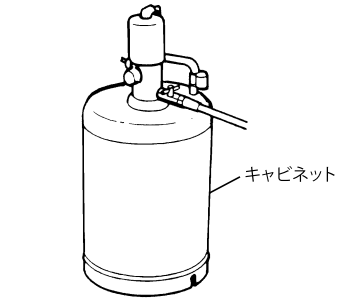



**Fig. 1**



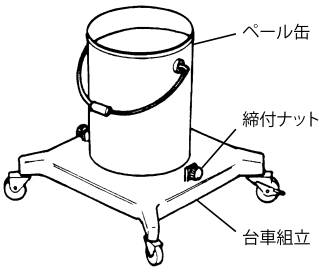




**Fig. 2**

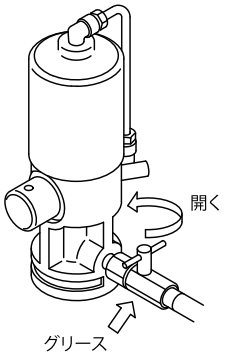



**Fig. 3**

## 3. 使用方法

### ⚠ 注意

- 使用中、吐出口を人前に向けてガンレバーを操作することは、絶対に行わないでください。グリースは高圧で吐出されます。人体に直接当りますと皮膚を傷つけたりする事故を起こす場合があります。

- 本機の最高使用エア圧は 0.7MPa です。これ以上の圧力での使用は破損などによる、人身事故･物的損害事故を招くことがあります。絶対に 0.7MPa 以上に設定しないでください。元圧が 0.7MPa 以上ある場合は、必ずレギュレーター（別売）を使用し、指示通りの圧力に調整してください。
- 作業中及び移動を完了した機器は､必ずキャスターブレーキをロックさせて動かないようにしてください。(Fig. 4)

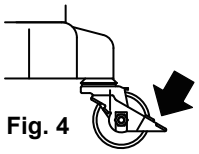


**Fig. 4**

- 作業終了後、または夜間･休日など長時間使用しない場合は、必ず本機への供給エアを切り、吐出口バルブを開き、ポンプ･ホース内の圧力を抜いてください。エアを切らなかったことによるホースの損傷、バルブなどのリークによって施設などを汚染させるなどの二次災害については、使用者側の責任になります。

1) 給脂しようとするグリースニップルをきれいに拭いてから、グリースガンのハイドロチャックをニップルに押し当て、なるべく垂直になるようにセットしてください。ハイドロチャックの爪がニップルの頭部に噛み付きます。(Fig. 5)

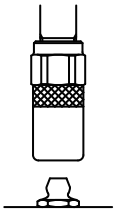


**Fig. 5**

2) ガンレバーを引きますとグリースは吐出され、ポンプも自動的に作動しグリースが給脂されます。グリースが正常に注入されていますと、ニップル付近の溝、または隙間から古いグリースが押し出されます。新しいグリースが出てくるまで続けてください。
3) 給脂が終わりましたらガンレバーを離してください。ポンプは自動的に止まります。
4) グリースガンのハイドロチャックを外してください。圧力がかかっていますので、いきなり引っ張りますとニップルの頭部を折る恐れがあります。ハイドロチャックを斜めに傾け、内圧を抜き、爪の噛み付きを緩めると、簡単に外すことができます。(Fig. 6)

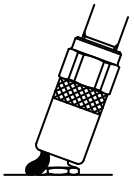


**Fig. 6**

5) 給脂作業終了後は必ず供給エアを切り､ポンプ･ホース内の圧力を抜いておいてください。(Fig. 7)
6) ポンプが急に激しく作動し始めた場合はペール缶のグリースが無いか、またはエアポケットが生じていることが考えられますので、給脂作業を中止し点検してください。ペール缶のグリースが無くなった場合は、新しいペール缶と交換してください。

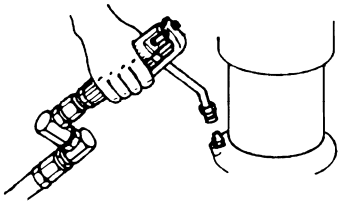


**Fig. 7**

## 4. 保守･点検

### 4.1 故障の点検とその対策

| 状　況 | 原　因 | 点検内容及び対策 |
|---|---|---|
| ポンプが作動しない | 供給エア圧は正常か<br>↓<br>（吐出側ホースを外して、ポンプを作動させてみる）<br>→ 作動すればホース出口バルブのつまり<br>→ 作動しなければポンプの故障 | 0.3～0.7MPaの間で供給エアの調整<br><br><br><br>サービスを依頼してください。 |
| ポンプは作動するが<br>グリースが出ない | ペール缶にグリースが入っているか | グリースの補充 |
| | サクションチューブ回りに空洞を生じていないか | 中央部にグリースをかき寄せる |
| | 下ポンプの故障 | サービスを依頼してください。 |
| グリースは出るが流量が少ない | 供給エア圧が低下していないか | 供給エア圧のチェック |
| | 下ポンプの故障 | サービスを依頼してください。 |
| （出口バルブを閉じても）<br>ポンプは動きっ放しで止まらない | 吐出側のホース、接続部に漏れはないか | ホース、接続部の点検 |
| | ペール缶のグリースが空になっていないか | グリースの補充・交換 |
| | 下ポンプの故障 | サービスを依頼してください。 |

### 4.2 保守･点検

**■注油**

ポンプのルブリケーションのため、10 日に一回程度、潤滑油の注入を行ってください。潤滑油の注入は以下のように行います。

1) レギュレーターを取外します。

2) エア供給口に Fig. 8 のように潤滑油を数滴(約 0.5mL)注入します。潤滑油はタービン油 ISO(VG-32)、または相当品をご使用ください。

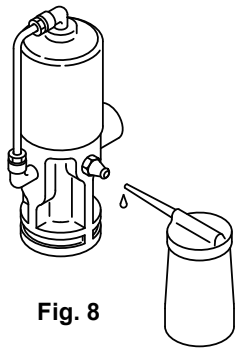


**Fig. 8**

**■点検**

・ ホースは消耗品です。定期的に点検し、傷･漏れなどがある場合は早めに交換してください。

・ ポンプのパッキン摺動部の部品は、摩耗いたします。1 年に 1 回点検･交換が必要です。

### 4.3 分解･組立

**⚠ 警告**

- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取扱いによっては引火･爆発の危険があります。
- 部品を洗浄の際、アルミ、銅合金、鉄などを腐食するような液体は使用しないでください。

- 本機の分解・点検は必ず供給エアを止めて、ガンまたは出口バルブを開き、本機内の圧力を開放にしてから行ってください。
- 使用するグリースの種類によっては、発ガン物質が含まれているものがあります。グリースメーカーの取扱注意事項をよく熟読し、注意して取扱ってください。

※ ポンプの作動が不良･停止の状態になった場合は、不用意にポンプを分解せず「4.1 故障の点検とその対策」(P.4)の項を参照して、その状況をよく判断し必要以外の箇所まで分解しないでください。

※ フートバルブ部にゴミがつまった場合には、次の方法で分解･洗浄し、点検を行ってください。

※ フートバルブ以外の部分、エアモーター部の分解は、弊社サービス店にご依頼ください。

**【フートバルブの分解】**

1) ポンプに供給しているエアを切り、ポンプ内の圧力を抜いて、ポンプより口金と高圧ホースを取外してください。
2) ポンプを固定している本体受けのナベ小ネジをねじ戻して、ポンプを上に引抜いてください。(Fig. 9)
3) ポンプの本体部をバイス(万力台)に固定し、バルブアダプターにスパナをかけてパイプレンチでチューブをねじ戻し外してください。
4) プレートを止めている割ピンを抜き、ナットをねじ戻しますと、プレートが取外せます。(Fig.10)
5) バルブアダプターにスパナをかけねじ戻し外しますと､バルブシート･フートバルブ･遊動子を取出すことができます。
6) 取出すのが困難な場合は、サクションチューブのローレット部にパイプレンチをかけて、サクションチューブをねじ戻し外してください。
7) サクションチューブを少し引き離しますと、エアモーターとロッドを接続しているユニオンが出てきますので、ピンを抜き、ねじ戻し外してください。(Fig.11)
8) エアモーター部と下ポンプ部が分離され、サクションチューブ内部よりバルブシート･フートバルブ･遊動子を取出すことができます。(Fig.12)
9) 各部品を洗浄･点検し、傷･摩耗などがある場合は、新品と交換してください｡特に､バルブアダプターのフィルターの目づまりに注意してください。
10) 組立は、分解時の逆の順序で行ってください。この時、フートバルブ･バルブシートの向きに注意して点検してください。

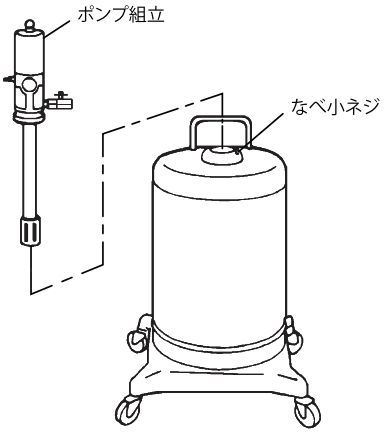


**Fig. 9**

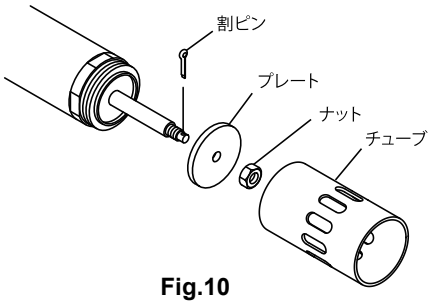


**Fig.10**

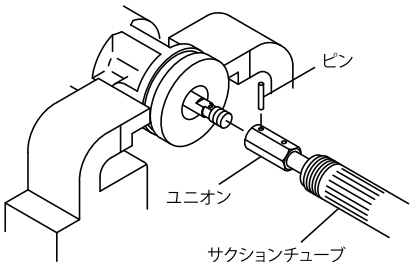


**Fig.11**

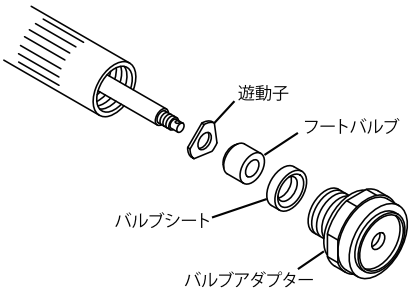
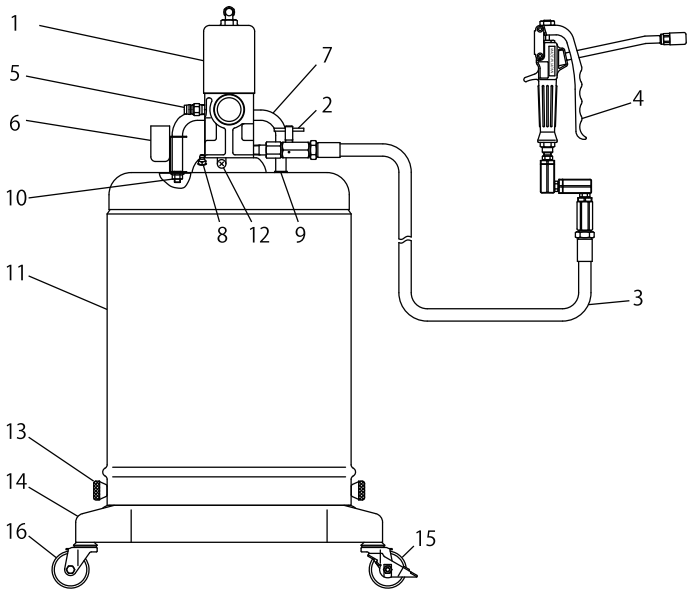


**Fig.12**

## 5. 部品分解図･パーツリスト

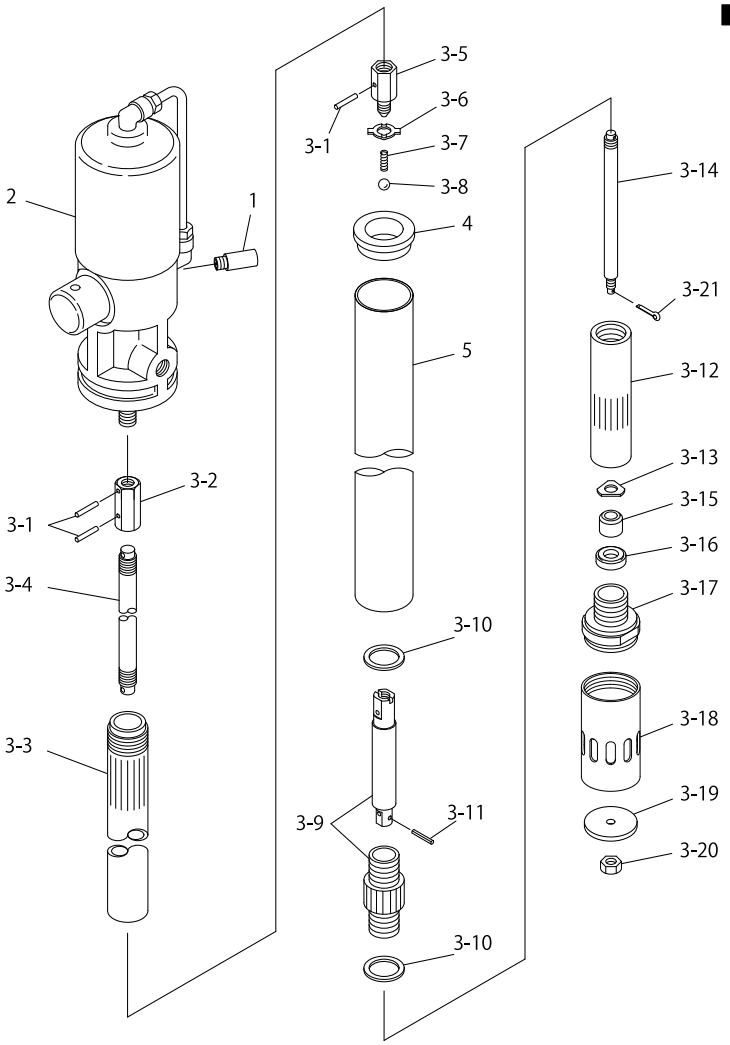
### 5.1 880870 SKR-55




■パーツリスト

| NO. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 852498 | ポンプ組立 | 1 |
| 2 | 800766 | バルブキット | 1 |
| 3 | 695034 | 高圧ホース | 1 |
| 4 | 851985 | 高圧グリースガン | 1 |
| 5 | 680743 | 口金 | 1 |
| 6 | 830138 | ガンホルダー | 1 |
| 7 | 705841 | 取っ手 | 1 |
| 8 | 702779 | グリースニップル | 1 |
| 9 | 631013 | 平座金 | 2 |
| 10 | 682276 | ナット | 2 |
| 11 | 706076 | キャビネット | 1 |
| 12 | 602296 | なべ小ネジ | 1 |
| 13 | 704570 | 締付ナット | 2 |
| 14 | 831098 | 台車組立 | 1 |
| 15 | 681767 | キャスター（ブレーキ付） | 2 |
| 16 | 680136 | キャスター | 2 |

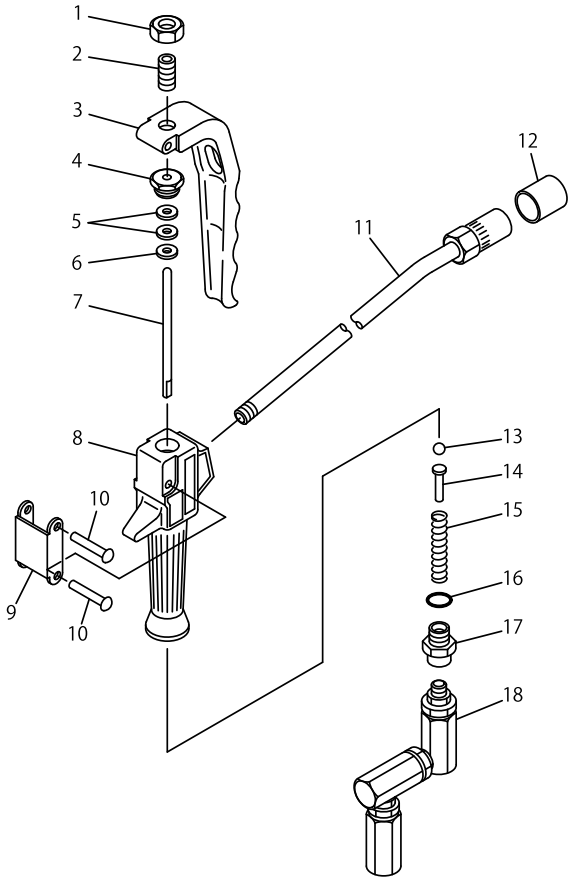
### 5.2 852498 ポンプ組立




■パーツリスト

| NO. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 681170 | サイレンサー | 1 |
| 2 | 802630 | エアモーター | 1 |
| 3 | 803358 | 下ポンプ組立 | ー |
| 3-1 | 702971 | ピン | 3 |
| 3-2 | 706091 | ユニオン | 1 |
| 3-3 | 702985 | サクションチューブ | 1 |
| 3-4 | 702986 | ロッド | 1 |
| 3-5 | 702975 | ユニオン | 1 |
| 3-6 | 702974 | 止め座金 | 1 |
| 3-7 | 702976 | スプリング | 1 |
| 3-8 | 630313 | ボール | 1 |
| 3-9 | 803355 | シリンダー組立 | 1 |
| 3-10 | 702977 | 座金 | 2 |
| 3-11 | 632754 | スプリングピン | 1 |
| 3-12 | 706072 | フートチューブ | 1 |
| 3-13 | 702980 | 遊動子 | 1 |
| 3-14 | 706399 | プランジャーロッド | 1 |
| 3-15 | 771404 | フートバルブ | 1 |
| 3-16 | 702982 | バルブシート | 1 |
| 3-17 | 830407 | バルブアダプター組立 | 1 |
| 3-18 | 702983 | チューブ | 1 |
| 3-19 | 702984 | プレート | 1 |
| 3-20 | 627010 | ナット | 1 |
| 3-21 | 632019 | 割ピン | 1 |
| 4 | 770409 | パッキン | 1 |
| 5 | 711650 | アウトチューブ | 1 |

## 5.3 851985 高圧グリースガン




■パーツリスト

| NO. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 627641 | ナット | 1 |
| 2 | 711750 | ボルト | 1 |
| 3 | 711354 | レバー | 1 |
| 4 | 711444 | 止めナット | 1 |
| 5 | 772160 | パッキン | 2 |
| 6 | 713638 | パッキン押さえ | 1 |
| 7 | 711357 | ロッド | 1 |
| 8 | 711352 | ガン本体 | 1 |
| 9 | 711351 | リンク | 1 |
| 10 | 683201 | リベット | 2 |
| 11 | 804911 | 注油ノズル | 1 |
| 12 | 685728 | キャップ | 1 |
| 13 | 630314 | ボール | 1 |
| 14 | 711445 | スプリング受け | 1 |
| 15 | 711446 | スプリング | 1 |
| 16 | 640011 | Oリング | 1 |
| 17 | 710971 | ユニオン | 1 |
| 18 | 802910 | スイベルジョイント組立 | 1 |

★No.3, 8, 9, 10 は非分解です。

## 6. 仕様

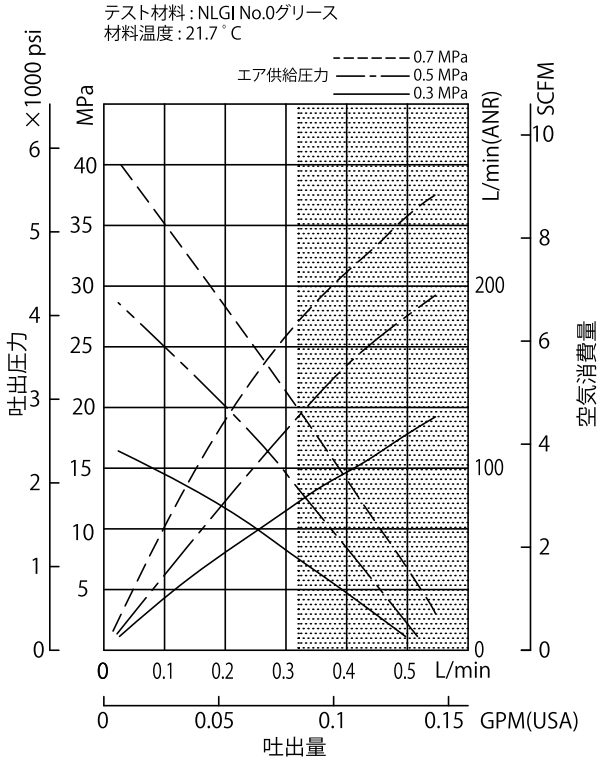
### ■仕様

| | | |
|---|---|---|
| 型式 | | SKR-55 |
| 製品番号 | | 880870 |
| ポンプレシオ(呼び) | | 55 × 1 |
| 材料接続 | 吐出口 | 高圧グリースガン |
| エア接続 | 供給口 | 口金 PS-20PM |
| 使用エア圧力範囲 | | 0.2～0.7 MPa |
| 作動音 | 騒音レベル *1 | 86 dB |
| | 音響パワーレベル *2 | 96 dB |
| 使用環境温度範囲 | 気温 | 0 ～ 60 °C |
| | 材料温度 | 0 ～ 80 °C |
| 質量 | | 13.5 kg |
| 付属品 | | 851985 高圧グリースガン・・・・・1<br>680743 口金・・・・・・・・・・・・・・・・1<br>695034 高圧耐油ホース・・・・・・1 |

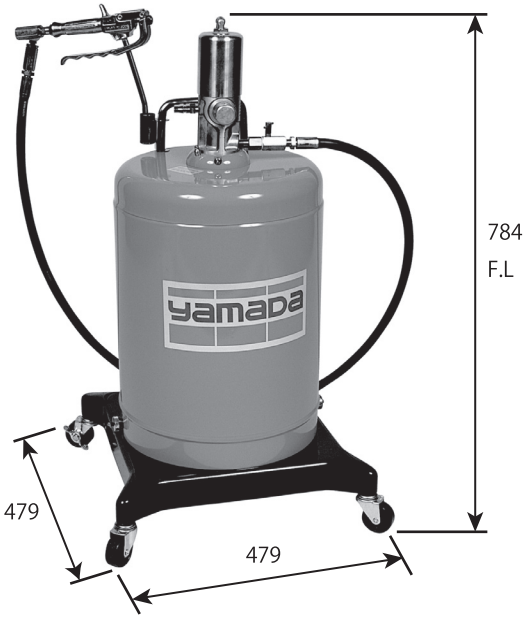
*1 測定方法は ISO 1996に準じる。
*2 測定方法は ISO 3477に準じる。

### ■パフォーマンスカーブ（ポンプ単体）

＜NOTE＞
・ご希望の吐出量が右側の影の部分に入るようであれば、ポンプの連続運転はおすすめできません。




### ■外観寸法



## 7. 不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

| 不具合内容 FAX シート | |
|---|---|
| フリガナ<br><br>貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | フリガナ<br><br>ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |
| フリガナ<br><br>ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br><br>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | <br><br>ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br>ご連絡先<br>Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿<br>Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ |
| 製品名 | 型式 |
| 使用期間<br>20　　年　　月 ～　　年　　月 | SERIAL No.<br>（LOT No.） |
| 運転頻度　□連続<br><br>□断続　　hr／日･週･月 | 購入年月日<br><br>購入販売店 |
| 機器の状態（不具合の内容） | |

## 8. 製品保証登録 FAX シート

・お手数ですが、下記の FAX シートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入ください。）

### 製品保証登録 FAX シート

| | |
|---|---|
| フリガナ<br><br>貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | フリガナ<br><br>ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |
| フリガナ<br><br>ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br><br>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ | <br><br>ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿<br>ご連絡先<br>Tel.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿<br>Fax.　（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿ |

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んでください。

| | | |
|---|---|---|
| 1.ガソリンスタンド | 2.自動車整備業 | 3.自動車部品製造 |
| 4.車両・造船業 | 5.製鉄業 | 6.機械加工業 |
| 7.機械製造業 | 8.電気機械器具製造 | 9.半導体製造業 |
| 10.化学・プラント | 11.建築・土木 | 12.塗料・インキ製造業 |
| 13.薬品・樹脂 | 14.食品製造業 | 15.塗装業 |
| 16.鉄道・バス・運輸業 | 17.窯業・陶器製造 | 18.印刷産業 |
| 19.鋳造業 | 20.石油産業 | 21.電気部品製造 |
| 22.軽金属・非鉄 | 23.織物・家具 | 24.バルブ |

25.その他（詳しくご記入ください。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■本機をお知りになったきっかけを〇で囲んでください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 新聞 | 1.日刊工業新聞 | 2.日本工業新聞 | 3.日経産業新聞 |
| | 4.日刊自動車新聞 | 5.燃料油脂新聞 | 6.その他の新聞 |
| 雑誌 | 7.IEN | 8.化学装置 | 9.IPG　10.その他の雑誌 |
| | 11.販売員に薦められて | 12.展示会 | 13.カタログで |

| | | |
|---|---|---|
| ご購入年月日 | ＿＿＿年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日 | ご購入目的<br><br>＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |
| ご購入販売店 | | ご使用条件 |
| 製品名（型式） | | |
| 製品番号 | | |
| SERIAL No. | | |
| LOT No. | | |

宛先　**株式会社 ヤマダコーポレーション**
営業部　製品保証登録係
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

## 9. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

**2.保証内容**：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外**：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10)過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11)日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類

**4.補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**MEMO.**

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。


株式会社ヤマダコーポレーション

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 本社・営業部 | 〒143-8504 | 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL (03) 3777-4101 (代) | FAX (03) 3777-3328 |
| 札幌営業所 | 〒062-0002 | 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号 | TEL (011) 821-0630 (代) | FAX (011) 821-0949 |
| 東京営業所 | 〒143-8504 | 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL (03) 3777-3171 (代) | FAX (03) 3777-6770 |
| 名古屋営業所 | 〒463-0052 | 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号 | TEL (052) 795-0222 (代) | FAX (052) 795-0444 |
| 大阪営業所 | 〒537-0025 | 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号 | TEL (06) 6971-5301 (代) | FAX (06) 6974-0497 |
| 福岡営業所 | 〒812-0888 | 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号 | TEL (092) 581-5477 (代) | FAX (092) 581-6524 |

| | | |
|---|---|---|
| YAMADA AMERICA Inc. | 955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA | TEL 1-847-631-9200 |
| YAMADA EUROPE B.V | Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands | TEL 31-0-74-242-2032 |
| 雅玛达(上海)泵业贸易有限公司 | 上海市浦东新区张江高科技园区松涛路 674 弄 9-11 号 3 号楼 1 单元 | TEL 86-21-3895-36 |


201109 900412